

# あおぞらニコニコ通信 2020年10月号

発行：社会福祉法人三田谷治療教育院  
 児童発達支援センター 明石市立あおぞら園 / 児童発達支援事業 明石市立きらきら  
 〒674-0092 明石市二見町東二見 1836-1 ふれあいプラザあかし西 2階  
 TEL.078-945-0280 FAX.078-945-0281 http://sandaya.or.jp/aozoraen/

## 浅原奈緒子園長のご挨拶

朝夕だけでなく日中も肌寒くなってきましたが、体調を気遣いながら上手に季節の変わり目を過ごしたいですね。暑い時期が過ぎるとともにヨーロッパでは新型コロナがまた猛威を振るっているらしく、今後の私たちの生活がどうなっていくのか社会情勢に注意を払いながらあおぞら園でできることをしっかりと継続していかなければいけないと考えています。その一つとして、お部屋の換気を徹底していますので、薄着のお子様はなにか羽織れるものをご用意いただけるとその場に合わせた調整をさせていただきやすいかと思えます。

11月以降の行事はできる限り直接出会うような形にしていきたいと考えています。これも、今後の状況によって難しくなる場合はあるかもしれませんが、しっかりと距離が取れる会場を確保するなど「三密」を避けて実施できるように努力していきます。さしあたって、11月以降の保護者会が多目的室を使えるようになりましたので、距離を保ちながらではありますが有意義なお話合いの時間になればと思います。私もお邪魔にならない程度に参加させていただいて、あおぞら園の様子などをお伝えしながら、ご質問などをお受けできればと思います。

この度、新型コロナによる社会の混乱を経験して、人と人が信頼しあうことの大切さ・見通しを持って過ごせるように情報をしっかりと発信していくことの重要性を実感しました。今後、どんな状況下に置かれても保護者のみなさまに安心していただけるよう努めて参りたいと思います。どうぞご理解、ご協力をお願いいたします。



登園直後のぺんぎん組の子どもたち

## トイレトッパーを通して、お子様の様子を振り返り、支援に繋がった話です

ある日、クラスの一日の振り返りの際に、あるお子様の、トイレでの様子について、話をする機会がありました。そのお子様は、個室にて必要以上の長さのペーパーを引き出していました。毎回指導員が介入し、ペーパーを千切る動作を手伝っていました。

一見遊んでいるようにも見えたお子様の様子でしたが、振り返りを行う中で、本当はうまく引き伸ばすことができないのではないか？“丁度いい”という長さの調整が難しいのではないか？等様々な意見が出ました。そして、ある指導員の言葉で実際にトイレに行って実践してみることで、どんなところでそのお子様が躓いているのか、考えることとなりました。不安定な場所に座ったまま両手を使うのは難しいから、1つずつ、動作を伝えていこう！ペーパーホルダーから膝までという視覚的なヒントがあれば、長さは分かり易いかもしれない！等見えてくるものがたくさんありました。

観察から見えた何気ないお子様の躓きに気付くこと。お子様の気持ちになって実際にやってみよう！というお子様の視点からの考え方や、職員で話し合い、連携することで、スモールステップを組むことが出来ました。これからも職員や専門スタッフとの連携を大切に、お子様一人ひとりに合った支援を考えていきたいと思えます。そしてご家庭でのお子様の様子等を保護者の方と共有し、連携していくことで、お子様の成長に繋がっていきたく思います。(間東)



ぺんぎん組の職員ミーティング

## 保護者学習会「家庭でのこどもへの関わり方」～トイレトレーニングを中心に～

今回の保護者学習会は、ZOOMを使い、オンラインにて開催しました。パワーポイントと音声を中心の講座で、例年行っている学習会の内容よりもコンパクトな内容になりましたが、お子様の行動の理解と対応のポイント、それを踏まえたトイレトレーニングの進め方についてお話しさせていただきました。参加された8名の方は、メモを取りながら熱心に聞いていただき、実施後アンケートでは、「こどもへの関わり方について振り返り、気付くことがあった。」「トイレトレーニングの進め方が理解できたので、今後取り組んでいきたい。」等、良い評価をいただきました。トイレトレーニングは、親子共に根気が必要なのが多いと思いますが、排泄が自立することは、お子様の自信につながりますし、保護者の方にとってもお子様の成長を実感できることではないかと思えます。今後も保護者の方と連携しながら、焦らず、お子様のペースに合わせ、楽しくトレーニングを進められるお手伝いができればと思います。

今回は、私自身初めてのオンライン学習会で、慣れないこともあり、途中で配信が途切れてしまうというハプニングもありましたが、参加者の方のご協力もあり、無事終了できました。実際に開催してみると、今後の開催に向けて工夫したいことや準備しておくべきことが分かりましたので、私自身もスキルアップしてこれからのオンライン学習会に活かしていきたいと思っています。(山本)



オンライン学習会を行う山本部長

## 三田谷フェスティバル！！オンラインにて開催決定！！11月7日10時より配信開始予定

新型コロナウイルスの影響により様々なイベントが中止、縮小されるなか、毎年11月に開催していましたが当法人の三田谷フェスティバルも例外でなく、この度は通常行っていたイベント開催は断念し、オンラインで配信という形で実施することになりました。

社会福祉法人三田谷治療教育院は支援の必要な幼児から成人の方まで相談をはじめ、療育、就労・生活支援に取り組んでいます。今回のフェスティバルは各事業所が各々の特色を生かした映像を作成して、11月7日午前10時より約1か月間、社会福祉法人三田谷治療教育院ホームページにて動画を配信させていただきます。

当法人ホームページにお越しいただき、是非この機会に児童入所施設及び就労支援や生活介護、グループホーム等の様子や雰囲気映像を通じで感じていただき、将来のお子様の進路に少しでも役立てていただけると幸いです。

ちなみに我が明石市立あおぞら園・きらきらも手話通訳が出来る泉川副主任を筆頭に選抜された職員で構成された手話コーラス映像を配信します！お楽しみください♪  
 (服部)  
 ※オマケ映像もあります。  
 ぜひご視聴ください。



手話コーラス打ち合わせ



手話コーラス撮影の様子

## きょうだい児に向けたビデオレターを作成！～明石市立あおぞら園・きらきら～

先月号でもお伝えしましたが、明石市立あおぞら園・きらきらでは、利用するお子様への療育や保護者支援同様にきょうだい児支援にも意識し取り組んでいます。毎年夏休みに実施しているきょうだい児が主役の「あおぞらフェスティバル」ですが、この度、コロナの影響により残念ながら実施を断念しました。しかし、今回、各きょうだい児にビデオレターを作成して、クラスの職員がしっかりとお名前を呼んで、事前にいただいた将来の夢を描いた絵や保護者の方から聞き取りした当園を利用するお子様のお世話をしている話等を踏まえ、「ありがとう」の気持ちをお伝えさせていただきました。映像についてはDVDにして11月上旬に各きょうだい児にお配りします。



らっこ組映像撮影の様子